

Step 1

看護政策とは

- 1 公共政策としての看護政策 福井トシ子 2
はじめに 2 / 公共政策とは 2 / 看護政策とは 3 / 公共政策の一部としての看護政策 4
- 2 看護政策の定義 村山 志保, 上別府 圭子 6
「看護政策」とは 6 / 看護政策の機能と類型 7 / 看護政策の階層性と構成要素 8 / 政策をつくるということ 9 / 政策が実効性をもつには 10 / 看護政策はなぜ重要か 11 / 看護職一人ひとりが関心をもつべき「政策」 11

Step 2

看護政策の歴史

- 1 戦前の看護の政策 川原 由佳里 16
はじめに 16 / 正規の看護教育と速成教育 16 / 病院看護と派出看護 — 診療の補助と療養上の世話の2つの役割 17 / 看護婦規則の制定と看護婦会の取り締まり 17 / 公衆衛生看護の発展, 戦争による影響 20
- 2 戦後の看護の政策 川原 由佳里 21
GHQの看護改革 21 / 厚生省看護課の設置 21 / 保健婦助産婦看護婦法の制定 21 / その後の看護教育制度 24 / 職能団体の結成と政治への参画 24 / 看護業務の変遷 — 診療の補助と療養上の世話 25 / 患者の安全と労働者としての権利 26 / 業務の範囲と役割拡大 26 / おわりに 27

Step 3

看護職の役割と責任

- 1 看護師の専門性 友納 理緒 30
看護師の専門性 30 / 高度な専門性を有する看護職 34
- 2 看護職における倫理と法律 友納 理緒 36
倫理と法律 36 / 看護職における倫理と法律 36 / 高度な専門性を有する看護職と倫理 38
- 3 看護師等の人材を確保する法律 友納 理緒 39
看護師等の人材確保の促進に関する法律 (1992年制定) 39 / 「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」の改定 40

Step 4

看護政策の枠組み

- 1 主要な看護政策のモデル (診療報酬を含む) 小野田 舞 46
はじめに 46 / 政策の窓モデル 46 / 政策ネットワークモデル (Policy Network Model) 47 / 訪問看護制度の創設 48 / 専門看護師・認定看護師制度 49 / 特定行為研修制度 50 / 看護と診療報酬に関する議論 52
- 2 政策立案プロセスとその利害関係者 福井トシ子 54
看護制度の構造と機能 54 / 看護における政策立案過程 55 / 政策立案過程とは 56 / 政策立案の事例: 産後ケア事業 61
- 3 政策過程における看護職の参画 瀬戸 奈津子 64
看護の特質を活かした政策的視点 64 / 看護学生が政策的視点を育む力 65 / 日本糖尿病教育・看護学会による取り組み 66 / ステークホルダーと協働した取り組み 72
- 4 事例 1: 公衆衛生看護における政策形成 嶋津 多恵子 74
公衆衛生看護における政策形成 74 / 保健医療福祉関連計画の策定の事例 75

5 事例 2：新人看護職員研修からみる政策形成 熊谷 たまき 78
はじめに 78 / 新人看護職員研修制度の概要 78 / 政策形成の背景と経緯 80 / 政策形成過程におけるステークホルダーの関与 82 / 政策実施状況 82 / 看護政策として柔軟な発展 82

6 看護政策立案における職能団体の役割 福井トシ子 84
公益社団法人 日本看護協会の成り立ち 84 / 日本看護協会の役割と機能 85 / 日本看護協会の政策提言活動 85 / 看護実践に関するデータを収集し政策に活かす 86 / 看護現場の声を政策に反映させる 87 / 看護職の専門性を高める活動 87 / 日本看護協会の国際交流活動 88 / 日本看護協会の政策推進活動 88 / 看護職員の処遇改善に関する日本看護協会の政策提言活動 89 / 政治に看護職らの声を 92

Step 5

看護政策の課題

1 看護の量的確保 石田 昌宏 96
はじめに 96 / 戦後の動向 96 / 准看護師養成高卒 1 年法案の廃案 99 / ILO 看護職員条約 100 / 看護職員需給計画 100 / 看護職員人材確保法の成立 102 / ナースセンターによる人材確保 104 / 診療報酬での評価の拡大 106 / 民間職業紹介事業所の増大 108 / 看護不足解消への行動 109

2 看護の労働環境 石田 昌宏 111
看護職員の離職と時間外労働 111 / 夜勤に関する諸課題 111 / 離職に関する課題 114 / 働き方に関する諸課題 115 / ハラスメントに関する課題 118 / 業務効率化に関する課題 119 / これからの業務・労働のあり方 120

3 看護基礎教育と看護職の生涯学習の課題 瀬戸 奈津子 122
看護専門職を取り巻く背景 122 / 看護基礎教育 122 / 看護職の生涯学習 127 / 特定行為に係る看護師の研修制度 131 / 認定看護師制度 132 / 高度実践看護師教育 134

Step 6

看護と医療制度の連携

1 多職種連携とアウトカム評価の重要性 井上 智子, 前田 留美 140
医療提供システムのなかでの看護の位置づけ 140 / 多職種連携の重要性 142 / 看護のアウトカムと医療の質 143

Step 7

国際的な看護政策

1 WHO と国際的取り組みからみる看護政策の構築と展望 齋 里美 150
はじめに 150 / WHO による看護政策 150 / WHO による看護政策のまとめ 154 / 各国の成功事例とベストプラクティス 154 / 国際協力と看護 159 / おわりに 162

Step 8

看護の未来

1 テクノロジーの進展と看護 山崎 優介 166
テクノロジーの看護への活用 166 / 今後の看護政策の方向性 168

2 看護の専門性の進化と深化 大原 裕子 171
看護の専門性の「進化」 171 / 看護の専門性の「深化」 172

3 普遍的な看護政策の必要性 山崎 優介, 大原 裕子 175
看護の普遍性とは何か 175 / 看護の専門性の「進化 / 深化」が看護政策につながる 176 / テクノロジーの進展と普遍的な看護政策とは 178

看護政策における研究と評価

- 1 エビデンスに基づいた政策立案 小野田 舞 182
エビデンスに基づいた政策立案とは 182 / エビデンスの範囲 184 / エビデンスの種類と活用方法 186 / 医療技術評価からみる「エビデンス活用」の実例 187 / エビデンスに基づいた政策立案の課題と今後の展望 189
- 2 政策評価の手法と指標 小野田 舞 191
政策評価とは何か 191 / 政策評価の目的 192 / 政策評価の種類 192 / 政策評価の実際 195 / ロジックモデルの活用を阻む組織 197 / 看護政策の政策評価を考える 197
- 3 看護職の経済的評価 角田 由佳 199
看護職の賃金水準の現状 199 / 看護職の賃金が上がりにくい要因 201 / おわりに 206

看護政策の今後の展望

- 1 ナース・プラクティショナー（仮称）制度の推進からみる看護政策の今後の展望 福井トシ子 208
2025年問題と政策 208 / 2040年に向けた看護および効率性の高い医療提供体制の課題 210 / ナース・プラクティショナー（仮称）制度創設の必要性 212 / ナース・プラクティショナー（仮称）制度創設に向けたエビデンスの収集 218 / ナース・プラクティショナー（仮称）制度に期待できること 221 / 新たな制度創設のために 222
- シラバス例①：看護政策論 226
シラバス例②：助産政策論 228
Index 230

column

看護婦による規則制定への運動 19 / 看護課の廃止と復活 23 / 准看護師をめぐる攻防 25 / 看護師による特定行為の実施めぐって 28 / 資質の向上 106

WORK

WORK▼1 28 / WORK▼2 94 / WORK▼3 138 / WORK▼4 148 / WORK▼5 179 / WORK▼6 198 / WORK▼7 224

本書の特徴と構成

本書は、各ステップをとおして看護政策について体系的に学べる構成となっている。

Step 1～3

概論

看護政策とは何か、その定義や歴史、看護師を取り巻く制度など学習に際して必要な基礎知識を解説

Step 4～9

各論

看護政策の実際と課題について、事例やデータを用いて詳説政策立案・評価を行うための実践的な知識を獲得

Step 10

展望

看護政策の今後の展望を学び、よりよい看護の実現に向けた政策立案について考える

本書での学習に加え、7つのWORKをとおして学習したことを振り返りながら看護政策について言語化し、意見交換を行うことでより効果的な学習につながる